

技能実習生  
47都道府県プロファイリング

# 沖縄県



# 外国人実習生で人材確保 国の制度2社が活用

2017年05月28日



人手不足に悩む石垣市内の民間事業所に、東南アジアなど外国から実習生を受け入れて人材を確保しようという動きが出ている。国の外国人技能実習制度を活用した取り組み。同制度の管理団体として受入・職業紹介事業を行っているT O Y O協同組合沖縄支部（浦添市城間）によると、2015年4月の支部設立以降、県内では15社に計104人、石垣市内では2社に計4人が配属されており、人材不足を背景に今後も増える見通しという。美崎代表は「彼らの働きぶりをみると熱意が伝わってくる。もっと業務を拡大し、売り上げを伸ばさなければならないとモチベーションが上がった。彼らは食肉加工の技術を学んでいるが、僕も彼らから学んでいる」と話す。

# JAおきなわ、ベトナムから農業技能実習生 まず27人

2017/08/29



JAおきなわはベトナムから技能実習生を受け入れ、沖縄県内の農家にあっせんする事業を始めた。1期生として27人が29日、那覇空港に到着した。1カ月の講習会で日本語や日本の生活習慣などを学んだ後、農家で3年間の農業実習を行う。技術の伝達による国際貢献に加え、県内農家の労働力を確保して経営安定化を図る狙いがある。今回来日したのは18～35歳。半数以上がベトナムの実家で農業を営んでいるという。あっせん先は糸満市や八重瀬町、南城市の個人農家13軒と3農業法人。野菜や花を作ったり、豚や肉用牛を育てたりしている。

[https://www.nikkei.com/article/DGXLASJC29H4O\\_Z20C17A8LX0000/](https://www.nikkei.com/article/DGXLASJC29H4O_Z20C17A8LX0000/)

# ホテル業界は歓迎 実習から就労、「双方に利益」

2018/5/21



政府が検討する外国人受け入れの拡大策は、人手不足にあえぐ業界にとっては朗報となりそうだ。中でも訪日外国人客の急増に沸くホテル業界は、既に熱い視線を送っている。留学生についても就労手続きの簡素化が盛り込まれ、留学から就労への門戸も広がる。

外国人旅行者の姿が目立つ那覇市の繁華街、国際通り。ホテルパームロイヤルN A H Aで働くネパール出身のサントシュ・パウデルさん（35）は日本語と英語を使いこなし、フロント業務を担う。「給料もボーナスも日本人と同じ。働くのが楽しい」と胸を張った。

母国の大学を出て、沖縄県内の日本語学校に留学した。卒業後は語学力を生かし、正社員として採用された。ただし、ホテル側にとっては、採用時に入国管理局から理由書の追加提出を求められるなど、煩雑な就労手続きが必要だった。高倉直久総支配人は「手続きの簡素化はありがたい」と歓迎する。



<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/418038/>

# 高度外国人材の活用を企業活動、地域経済の活性化につなげる（沖縄県の事例）

2019年8月19日



人材不足を補うという点で、外国人材活用への認知度は高まっているが、高度な知識やスキルを持つ人材の不足を補うという点ではこれからだ。沖縄には、沖縄科学技術大学院大学（OIST）のような高度外国人材の宝庫もある。OISTでは、在籍する研究者の起業を促したり、スタートアップ・アクセラレーター・プログラムの提供を通じて世界中から優れた起業家を集めて支援したりするなど、沖縄を「科学技術により、イノベーションを起こす場所」と定義し、高度な知識を持つ外国人材を集めようとしている。

<https://www.ietro.go.jp/biz/areareports/special/2019/0303/1c952f0e1d213dfc.html>